

## きれいな道路はみんなの手で 道路いっせい清掃

道路ふれあい月間のメインイベントとして、幹線市道のいっせい清掃が8月31日に行われました。

沿線町内会のみなさんなどボランティア約1,200人が参加し、朝7時から約2時間で不燃ごみ、粗大ごみなど約7.5トンのごみを回収しました。

参加されたみなさん、ご協力ありがとうございました。



まち  
かど  
真館



## 市民活動への理解と交流をテーマに 市民活動フェスティバル開催

「つやま市民活動センター」で活動する市民団体が9月6日と7日の2日間、井口の市民活動センター「あいあい」で第2回市民活動フェスティバルを開催しました。

6日はまちづくりについてのシンポジウム、7日は登録団体による人形劇・環境劇や特産物屋台村、ちびっ子ふれあい村などが開かれ、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。

おめでとう!

## グラスハウスで入場者70万人達成

9月14日、グラスハウスで入場者70万人を達成しました。70万人目となったのは、長船町から訪れた雪吉信之さん、幸さんと2人の子どもさんの一家。幸さんは突然の知らせに「びっくりしました。ここに来たのは、今年2回目。うれしいです」と語っていました。

グラスハウスは平成10年11月30日に開館し、市内だけでなく県外からも多くの人々が訪れ、入場者数も年々増加しています。



大正ロマンの薫るまち

## 津山・城西まるごと博物館フェア開催

城西地区全体を1つの博物館としてとらえ、歴史的なまちなみや暮らしを紹介するユニークな催し「津山・城西まるごと博物館フェア」が9月21日、作州民芸館を主会場とする坪井町から西今町の旧出雲街道沿いで開催されました。

ミルクホール、昔懐かし屋台村、アートクラフト展、ミニSL、人力車などの出現で、大正時代のレトロな雰囲気に包まれた中、友人や家族連れなど多くの人でにぎわいました。

～ 未来に架ける人の輪・音の輪 ～  
**津山国際総合音楽祭開催**

「グスタフ・マーラー、そして彼方に...」をテーマに9月20日、第6回津山国際総合音楽祭が始まりました。10月5日までの16日間、市民やプロによるクラシックコンサートのほか、ロック・日本音楽コンサートやレクチャー、シンポジウムなど多彩なプログラムで秋の津山を美しい音のハーモニーで包みました。

今回は、9月24日までのようすを一部紹介します。音楽祭の詳細は、広報つやま11月号の特集でお伝えしますので、どうぞお楽しみに。



9月20日 オープニング・コンサート  
 シベリウスの交響詩「フィンランディア」で開幕



グスタフ・マーラー資料展、渡邊暁雄  
 イン・メモリアムではゆかりの品々を展示



9月20日 佐藤美枝子  
 《荒城の月》を歌う



Free Flower



9月21日 市民コンサート 日本音楽コンサート 箏曲0202会

9月21日  
 市民コンサート  
 ロック・コンサート



9月24日  
 大阪センチュリー交響楽団による  
 音楽プレゼント（高倉小学校）

9月23日  
 フォーレ《レク  
 イエム演奏会》  
 では市民合唱団  
 も参加

